日本デューイ学会 第64回研究大会

参加/個人研究発表申込みのご案内

日本デューイ学会は，アメリカ合衆国の哲学者・教育学者であるジョン・デューイ，ならびにアングロ・アメリカ的な哲学・教育学に関心をもつ研究者の協同機関です。

64回目となる今研究大会は，学会史上初めてとなるオンラインにて，公開シンポジウム，課題研究，個人研究発表などが行われます。ご関心のある多くの皆様の参加をお待ちしております。

日本デューイ学会会長・実行委員会委員長　加賀 裕郎（同志社女子大学）

◇ **期　日**　**2021年 9月25日（土）・26日（日）**

◇ **会　場**　**Zoomミーティング**

◇ **対　象**　**会員，学会・研究大会の趣旨に賛同する非会員（オープン参加者）**

◇ **日　程**

第１日：９月２５日（土）

9:30 10:00　11:30　12:30　13:30　16:15

受付	個人研究発表（第１日）	休憩	総会	シンポジウム

第２日：９月２６日（日）

9:30 10:00　11:30　12:30　15:00

受付	個人研究発表（第２日）	休憩	課題研究

シンポジウム（第１日）「インクルーシブ教育と民主的社会の未来」

一般公開

障害者差別解消法により，学校教育において障害がある子どもへの合理的配慮を提供することが義務づけられました。社会は，すべての人びとが相互に尊重し，協力し合う共生社会に向かって大きく動きだしています。このシンポジウムでは，インクルーシブ教育の理論と実践，民主的社会の未来が議論されます。

基調講演：　木村　泰子 氏　（大阪市立大空小学校 初代校長）

シンポジスト：　野口　晃菜 氏　（株式会社LITALICO LITALICO研究所所長／国士舘大学非常勤講師）

千賀　　愛 会員（北海道教育大学札幌校）

司会：　荒木　寿友 会員（立命館大学）伊藤　博美 会員（椙山女学園大学）

課題研究（第２日）「プラグマティズムの真理論は政治，教育，知識にとって何を意味するか」

プラグマティズムの思想的特徴は真理論にあります。現代の政治，教育，知識の問題がパラダイムシフトしつつあるなかで，プラグマティズムの真理論を通してこれらの問題を見たとき，どのような思想的光景が現れるかを討議します。

提題：　生澤　繁樹 会員（名古屋大学）加賀　裕郎 会員（同志社女子大学）藤井　千春 会員（早稲田大学）

司会：　新　　茂之 会員（同志社大学）松下　晴彦 会員（名古屋大学）

◇ **参加費**　シンポジウムのみ（どなたでも参加できます）　無料

個人研究発表／課題研究（会員資格が必要です）　2,000円（学生500円）

◇ **申込み**　**特設サイトから**　https://sites.google.com/view/dewey64conf

〆切　研究大会参加：９月１８日（土）　個人研究発表：６月３０日（水）

※シンポジウムのみ参加の方も事前の申込みが必要です

主催：日本デューイ学会　後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

照会先：実行委員会事務局長　岩﨑 保之（京都女子大学）　E-mail: dewey64conf@gmail.com

【イベントのご案内】日本デューイ学会 第 64 回研究大会

シンポジウム（一般公開）

インクルーシブ教育と民主的社会の未来

日時：2021年 9 月25日（土）13:30～16:15　会場：Zoomミーティング
主催：日本デューイ学会　後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

フル・インクルーシブ教育を実践している大阪市立大空小学校の初代校長，木村泰子先生の基調講演を受けて，「障害のない社会をつくる」をヴィジョンに掲げた企業の取り組み，特別ニーズ教育とデューイ研究を踏まえたインクルーシブ教育の理論と実践などの話題提供をしながら，インクルーシブ社会と社会的インクルージョンの未来を考えます。

基 調 講 演：木村 泰子 氏（大阪市立大空小学校初代校長）

プロフィール
大阪市生まれ。1970年から教員として各地の学校で指導。2006年から9年間，大阪市立大空小学校で初代校長を務め，その様子は映画「みんなの学校」（2015年）で広く紹介される。近著に『学校の未来はここから始まる』（小学館）など。

シンポジスト：野口 晃菜 氏（株式会社LITALICO LITALICO研究所所長／国士舘大学非常勤講師）

プロフィール
米国ロサンゼルス市生まれ。小学校で脳性麻痺の友人に出会いインクルーシブ教育に関心をもつ。2011年に入社後，指導員，サービス開発，研究等を行いながら，文部科学省などの各種審議会・検討会の委員も務める。博士（障害科学）。

シンポジスト：千賀　愛 会員（北海道教育大学札幌校准教授）

プロフィール
津市生まれ。日本学術振興会特別研究員等を経て2007年より現職。デューイ教育学に基づく子どもの多様なニーズに応じる補償理論・実践を研究。著書に『デューイ教育学と特別な教育的配慮のパラダイム』など。博士（教育学）。

司会：荒木 寿友 会員（立命館大学）
伊藤 博美 会員（椙山女学園大学）

どなたでも無料で参加いただけますが，事前のお申込みが必要です。
【特設サイト】https://sites.google.com/view/dewey64conf